

耳鼻咽喉科
専門研修プログラム

内科系、外科系どちらでもできます
新生児からお年寄りまで診ます
外来診療から手術まで、ステップアップが実感できます

募集定員
5名

研修期間
4年



責任者からの
メッセージ

耳鼻咽喉科
教授 高橋 邦行

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の範囲は、生命・機能維持に関する多くの感覚器、運動器があり、内科的、外科的な両面から、生活の質(Quality of life)の改善、健康増進を目指しています。めまい、感染症、アレルギー性疾患から、人工聴覚器のような先進医療、気道緊急などの救急疾患、悪性腫瘍に対する集学的治療まで、さまざまな分野に対応しています。映像の共有、シミュレーション手術も使い、レベルに合わせた屋根瓦方式な指導で、若いうちより安全、確実に技術の獲得ができます。医療者自身が健康で楽しく仕事をできないと、患者さんの健康を守ることができません。当科では組織として互いにリスペクトし、楽しく仕事ができる環境を実践しています。

プログラムの特徴

耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門医としての知識・技能・医療倫理を兼ね備えた医師を養成しつつ、宮崎県の地域医療充実と質の向上に貢献することを目的としています。宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室を中心とする連携研修施設群において、耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムであると同時に、学会発表や学術論文作成を通じて自然科学者としてのリサーチマインドも重視します。また、地域の医療情勢の理解、他大学との技術交流、人材交流の目的で、琉球大学、東京慈恵会医科大学、国際医療福祉大学成田病院、福岡大学との連携も選択可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	高橋 邦行 教授、他 4 名	約900
連携施設Ⅰ	県立宮崎病院、県立延岡病院、国立病院機構都城医療センター、宮崎善仁会病院		
連携施設Ⅱ	琉球大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、国際医療福祉大学成田病院、福岡大学病院		

連携施設Ⅰ・・・地域医療を担う病院：指導医1名以上、スタッフ1名以上、年間手術件数150件以上
連携施設Ⅱ・・・他大学病院(様々な地域の中心的存在として機能している。基幹施設だけで習得することのできない、地域性豊かかつ専門性の高い最先端の医療を経験できる。)

専門医取得までのタイムスケジュール

コース	1年	2年	3年	4年
基本コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地域医療施設	宮崎大学附属病院
国内留学コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	他大学連携施設	宮崎大学附属病院
基礎研究展開コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地域医療施設	宮崎大学大学院
地域枠キャリア形成コース	宮崎大学附属病院	地域医療施設	地域医療施設	宮崎大学附属病院

プログラム達成目標

1年目(2026年度)

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の基礎を固めます。

2年目(2027年度)

宮崎大学医学部附属病院において大学病院特有の専門性を有する疾患の経験を積みます。

3年目(2028年度)

地域医療を担う県立宮崎病院、都城医療センター、宮崎善仁会病院、県立延岡病院において6ヵ月～12ヵ月間の地域医療の実践的な研修を行います。また、上述したような他大学連携施設で3ヶ月から1年間の研修も可能です(国内留学コース)。

4年目(2029年度)

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の総点検を行い、不足事項があれば補填した上で専門医試験前対策期間を適宜設けます。また、基礎研究展開コースでは社会人大学院に入学して基礎研究を開始します。

主要症例名と実績数

専攻医は4年間の研修期間中に右表の疾患について、外来あるいは入院患者の管理を受け持ち医として実際に診療経験しなければならぬとされていますが、当プログラムでは十分経験することが可能です。

症例	実績数	症例	実績数
難聴・中耳炎	25例以上	喉頭腫瘍	10例以上
めまい・平衡障害	20例以上	音声・言語障害	10例以上
顔面神経麻痺	5例以上	呼吸障害	10例以上
アレルギー性鼻炎	10例以上	頭頸部良性腫瘍	10例以上
鼻・副鼻腔炎	10例以上	頭頸部悪性腫瘍	20例以上
外傷・鼻出血	10例以上	リハビリテーション(難聴、めまい・平衡障害、顔面神経麻痺、音声・言語、嚥下)	10例以上
扁桃感染症	10例以上		
嚥下障害	10例以上	緩和医療	5例以上
口腔・咽頭腫瘍	10例以上		

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
AM	手術	症例検討会 病棟回診	手術	症例検討会 病棟回診	手術
		初診外来		初診外来	
PM	手術 カンファ	手術 一般外来 外勤	手術 カンファ	症例検討会	手術 外勤
				抄読会 MENTORゼミ	

- 新人クルズス：計10回で構成される指導医から専攻医への研修(各分野ごと)
- 耳科、鼻科、頭頸部専門分野カンファレンス
- 院内合同カンファレンス(嚥下、放射線治療など)

ココに注目！

◆耳鼻咽喉科の特徴

五感、すなわち視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚のうち視覚を除いて耳鼻咽喉科の守備範囲です。耳鼻咽喉科は人間が人間らしく生きる上でもっとも基本的かつ重要な機能を扱っています。扱う疾患、手技が多岐にわたるため、個々の興味、能力、体力などに応じて、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の中で、自分にふさわしい分野(サブスペシャリティー)を見つけることができます。

◆女性医師について

日本耳鼻咽喉科学会会員の女性医師は年々増加傾向にあり、現在24%を超えています。小児難聴をはじめ従来から女性医師が活躍してきた領域も多く、高い専門性を保ちながら医療の第一線で活動を継続している女性医師が多いのも耳鼻咽喉科の特徴です。

指導医からのメッセージ



医局長 中村 雄

みなさん、こんにちは。医局長の中村です。当教室は、長年耳科学を中心に全国に発信して来た教室で、耳科手術に関しては全国トップレベルに位置している教室だと自負しています。また地域医療の基幹拠点として、県内3施設・県外1施設に常勤医を、県内・県外の11施設に非常勤医を派遣し地域医療に貢献しています。また外科医としてのみならず内科系医師としても、フルタイムでもパートタイムでも働く事が出来る環境にあります。「宮崎ブランド」としてどこに出しても恥ずかしくない耳鼻咽喉・頭頸部外科医に育てますので、老若男女問わずお待ちしております。



猿渡 英美

私は初期研修の時に耳鼻咽喉科に興味を持ち、入局を決めました。耳鼻咽喉科の魅力の一つは、耳、鼻、のど、頭頸部と幅広い分野を学ぶことができ、また新生児から高齢者まで様々な方と関わることができる点だと思います。働き方も様々で、専門分野を決めることもできますし全ての分野を学ぶこともできます。また診療形態の選択肢も多く、育児をしながらでも希望通りの働き方で仕事を続けやすい環境だと思います。耳鼻咽喉科に興味のある方もない方も、まずはぜひ気軽に遊びにきてください。

先輩からのメッセージ



長濱 宗嗣

私はクリクラⅡの耳鼻科の実習のときに、耳鼻科領域に興味を持ち、そのときから耳鼻科の先生とも仲良くなり、入局を決めました。耳や鼻の機能改善手術は患者さんのQOLに直結し、頭頸部悪性腫瘍の手術・抗癌化学療法などは命を救う治療であり、幅広い専門領域があります。手術をメインに働くこともできますし、外来をメインに耳鼻内科として働くこともできます。専門医を取得したあとも、幅広い選択肢の中から、自分の興味のある分野や、やりたい働き方ができます。学生の方はぜひ実習で、研修医の方はぜひ研修の一コマとして、耳鼻科に遊びに来てください。一緒に楽しみましょう。



古賀 浩之

入局して6年目です。昨年度からがん研有明病院に国内留学する機会に恵まれました。ハイボリューム施設での診療に圧倒されることもある反面、宮崎で得た学び・経験が大きな支えになり、実りある毎日を過ごしています。耳鼻科は解剖や機能が複雑でなんとなくとっつきづらいというイメージがありますが、高橋教授以下医局員みんなで楽しんで成長できる教室です。たくさんの方が興味を持ってくれることを期待しています。

お問い合わせ先

担当：後藤 隆史

T E L：0985-85-2966
F A X：0985-85-7029
e-mail：takashi_ngoto@med.miyazaki-u.ac.jp

耳鼻咽喉科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/jibika/>

